

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡で食べる

日々の活動を
配信中!

小郡市地域おこし協力隊

moromoro82

nougyou_ogori82

市産の農作物を、
多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



「農」にまつわるオリジナルかるた、子どもたちへプレゼント



デザイナーとの
打合せの様子

地域おこし協力隊として、令和元年8月に採用され、もうすぐ任期満了です。「地産地消の実現」という目標に向けた活動の総仕上げとして、小郡の「農」を題材にした「おごおり農産かるた」を制作！

そんなかるた制作のきっかけは、取材に訪れた保育園で出会った男の子。転んで泣いていたところを見つけ、ユニークな形のナスびの写真を見せるとにっこり笑顔に。その様子を見て「子どもたちが地元恵みに親しみを抱くような遊具を作ろう」と心に決めました。

「地産地消」とは、地元の人が地元の生産物を積極的に消費することです。子どもたちがこのかるたで遊ぶことで、地元の農にまつわる事柄に関心を持ってもらい、「農産物を見て、触って、嗅いで、食べて、ファンになってもらい、成長しても郷土の農産物を好んで食べてほしい」と願いを込めています。

かるたの絵札には、市内で撮影した田植えやイチゴ狩りなどの写真を使用。また、読札には五七五の楽しい文句が載っています。

かるたの内容は、保育士など幼児教育に関わる人にチェックしてもらい、試作段階で知り合いの子どもにも遊んでもらった反応を、制作に生かしました。4月ごろ、市内の幼稚園や保育園、コミュニティセンターなどに寄贈を予定していますので、お楽しみに！



Ogostagram

「おごおり農産かるた」を少しだけ紹介！



こ

こけのたま
てのなかすっぽり
かわいいな
久光農園オリジナルの
苔玉(こけだま)です。百貨店の
催事でも大人気
だそうです。



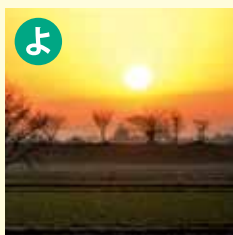
み

みちばたで
きれいなおはな
うってるよ
光行の河原花直売
で切り花を購入し
ています。100円
均一でとってもお
得ですよ。



り

りらくす
れもんぐらすの
いっぱい
八坂で栽培された
レモングラスの
ティーバッグ。こ
れからの季節、ア
イスティーもおス
スメですよ！



よ

よあけまえ
だいちをてらす
ひのでかな
朝活にはまっています。早朝に散歩。
小坂井の畑を照らす朝日がきれいで
した。



す

すとらいぶ
えがいたはたけの
ちゅーりっぷ
小郡名物の光行の
チューリップ園。
13色の鮮やかな線
がきれいですね。



ぬ

ぬくぬくと
ゆずのお風呂で
あったまろう
直売所でユズを
買い、湯船に浮か
べて温まりました。